

『世界を旅するかっこいい人になりたい』

海外でにぎやかに過ごした小学校低学年

小さいころからイラストを描いていた。写真に写るのも好きだったし、紙とクーピーで兄の絵を描いたりした。小学校に入ると最初は海外の日本人学校に通っていた。僕にとってはスコップ君期（自分の宝物で色と形がきれいな、想像して考えたアニメのキャラ。スコップの上の方に顔がついている。）。英語も話してたけど、基本は日本語で、楽しく過ごしていた。宿題の問題が難しくて、進めるのが大変だった。親に教わっていたけど、間違えると怒られて、終わると褒められた。

▼主な活動：オリジナルアニメを描く／自撮り（自己紹介、アナウンサーごっこ）



みんな友達→リレーの選手の話

3年生で日本に帰ってきたばかりで、先生に怒られたりしたとき、海外にいた時の友達に会いたいと思っていた。それがつらかった。時間がなく、イラストや動画はあまりやらなかった。指示なく勝手に座ろうとして先生に怒鳴られて泣きそうになった。最初はあんまり友達を作る機会がなかった。この頃、**自分が登場する、物語をイメージしていた。楽しかった。**学年が変わったときクラス替えがあって仲の良い友達ができる。4年生はフィーバー！イラストを再開した。5年生で落ち着いた。紅白リレーに選ばれた。出場出来てよかったし、その物語をイメージしていた。

▼主な活動：野口英雄、福沢諭吉の物語。視聴者がいる想定で動画を撮影（編集はまだ）

▼影響を受けたもの：youtuber（ダンテ君）

たくさんのマイナスのできごと、抜かしたいくらい嫌な気持ち・・・

中学校はあまり楽しくなかった。

友達との問題が起きた。同級生に変な名前を付けて呼んで遊んで、お母さんからけっこう怒られた。この事件は忘れたい。**勝手に他のクラスに混じって試験を受けようとして、他の担任の先生に泣くほどおこられた。難しい問題のテストを受けて見たかった。**体育祭の予行演習の時に持久縄跳びで、他の生徒が前飛びしているとき、自分一人だけ後ろ飛びをした。理由はよくわかっていないけどやってしまった。先生から叫ぶような大声で注意された。そのあと出場予定だった400M走に出られなくなった。部活も停止になった。その後約束を守って部活に参加することを条件に復帰できた。お母さんはこの時あまり怒らなかつた。一人の友達に意地悪いことを言われた。「あいつ頭がおかしい」「思い出し笑いをして勝手にうごくらしいよ」と言われた。かなしい出来事。担任に相談したら、担任の先生も意地悪い友人に同意した。「こっちの方が正解」と言っていた。そのあと両親に相談した。その後**担任の先生に「僕のことを守ってほしい」と自分で言った。**「彼はそう言うこと言ってほしくないから言わないでくれる？」と意地悪なクラスメートに言ってくれた。でもそのあとも3年の間は意地悪なことを言われた。

▼主な活動：ヘブライ語、ドイツ語、自転車の旅

▼影響をうけた影響を受けたもの：劇団スカッシュというチャンネル

やりたいことができた高校時代

高校に上がると新しい生徒が来て、ライン交換をたくさんして、おしゃべりしたり、スタンプ交換したりして、平和に過ごせた。嫌な思い出はなかった。

最初は大学を目指すために**自分の力で勉強した**。その後アニメの専門学校に行くための教室に通い始めた。それからCM動画も作り始めた。バラエティ動画も作った。

高3になると少し悩みも出てきた。**就職することに決定したので、色々なことに挑戦できなくなった**。アニメーションの教室にも通えなくなった。また行きたい気持ちを両親に相談した。もう習ったからいいんじゃないと言われた。自分としてはまた行きたい。

▼主な活動：自分の作るバラエティー番組、youtuberの活動

▼影響を受けたこと：兄（ドライブに連れて行ってもらった）

これからの夢

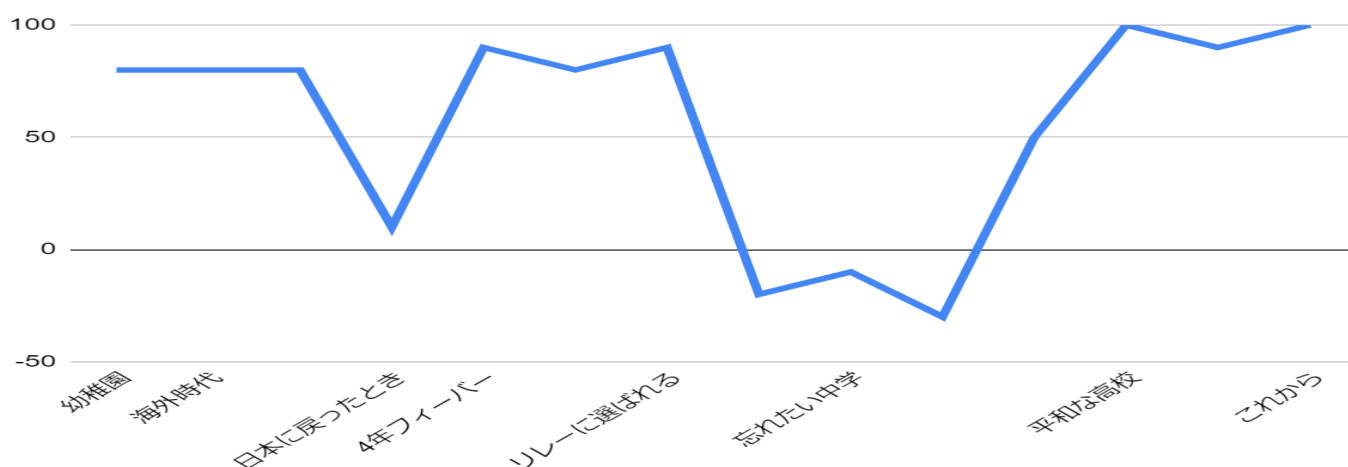
カッコいい自分（有名な俳優になれる自分になりたい）

旅を続けたい

バラエティー番組を作りたい

イラストを描いてyoutubeで見てもらいたい

18年間のモチベーショングラフ



A.Sさん 私立小中一貫校（支援級）⇒系列の高等専修学校⇒職業訓練校進学予定

利用時期：小6～高3 参加プログラム：個別セッション、お仕事体験（一般コース）

TEENSで行っていたこと：学校の課題、イラスト練習

長所：頭の中にあることを説明すること／絵を描くこと／上手に撮影すること／アイデアを考えること
／前向きに考えること

TEENSの後輩へ：いろんな話ができ楽しかった！自分のイラストの話で盛り上がった！

家族に一言：いろんなところに出かけたり、習い事の機会を作ってくれてありがとう。

友達に一言：いつもたくさんしゃべってくれてありがとう！また一緒にどこかへでかけたいな。

TEENSスタッフへ：イラストの説明の仕方を一緒に考えてくれて嬉しかったです。